

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局

〒640-8314
和歌山市神前 405-3
TEL 073-473-2301
FAX 073-473-2302

発行責任者
中澤敏浩



全国大会であいさつする組坂繁之・中央執行委員長

新体制でスタート

第71回全国大会

3月10日、11日、東京・日本教育会館で、中央役員17人が全国から参加した。部落解放同盟第71回全国大会がひらかれ、代議員、

はじめに、組坂繁之・中央執行委員長から、部落をとりまく厳しい差別の実態や日本国内の政治不安・格差社会における差別の再燃をはじめ、差別を解消して

いくための人権行政確立へのとりくみ、51年を迎えようとする狭山事件の再審勝利に向けたとりくみの方向などが示された。1日目の全体会では、昨

年一年間の活動報告にあわせ、人権・平和・環境の確立を具体化させていくための基調提案がおこなわれた。さらに、各分散会では、全国各地で発生している差

別の実態や人権無視のヘイトスピーチの問題、教育(保育)や就労・生活の具体的な課題、活動拠点の閉鎖や「同和対策」としてとりくまれてきたさまざまな活動の縮小などの問題が報告さ

れた。また、本年は役員改選の年であったため、中央役員信任選挙がおこなわれ、組坂委員長の再選を含む19人の中央役員が選出された。2日目の全体会は、昨日の分散会報告の後、新役員

第71・72期中央執行委員会校正役員

役職	なまえ
中央執行委員長	組坂繁之(福岡)
中央執行副委員長	坂本三郎(兵庫) 北口末廣(大阪) 松本龍(福岡)
中央書記長	西島藤彦(京都)
中央財務委員長	片岡明幸(埼玉)
中央執行委員	池田清郎(和歌山) 山崎鈴子(愛知) 安田茂樹(京都) 田村慎悟(兵庫) 村井康利(大阪) 赤井隆史(大阪) 高橋定(大阪) 高谷川雅彦(大阪) 和田献一(栃木) 政平智春(広島) 伊藤伸一(福岡) 吉岡正博(福岡)
中央組織規律委員会委員長	西藤千代子(長野)
中央組織規律委員会副委員長	飯田敬文(和歌山) 中川貢(高知)

全国大会スローガン

憲法改悪を阻止し、差別排外主義を許さず、人権・平和・環境を基軸に民主主義の確立に向けた部落解放運動の闘いを大きく前進させよう

頑健

テレビに、ウクライナからの留学生が映っていた。クリミアのロシア系の彼女の両親と親類は、ロシアに編入された方に投票したが、自分はウクライナ人であるという。そして今、クリミアではロシア国籍取得の作業がはじまっている。彼女は、毎日のように両親とインターネットを使って会話をしているが、この話になると会話途切れてしまうと悲嘆にくれる▼話がかわるが、先日、書籍「アンネの日記」が破られるという事件が多発した。また、泉佐野市で「差別的表現が多い」との理由で「はだしのゲン」が回収されるといふことが起きている。さらに、サッカーの浦和レッズとの試合が無観客でおこなわれた。ヘイトスピーチが止まず、週刊誌に中国とか韓国との戦争シミュレーションや攻撃記事が増えている。そして、国会でもこの春から「集団的自衛権」の議論がはじまるといふ▼それは、同盟国が軍事攻撃されたとき、相手と敵対関係がなく戦争状態でもないのに相手に先制攻撃をかけるということだ。これはもはや「自衛」ではなく、日本も「積極的に戦争する」と宣言することになる▼人間は、その歴史のなかで得た結論が「人権の普遍性」である。そして、人間が人間として幸福に生きるために「国家」が存在するとういうことでもある。しかし、その国家間の利害や自己主張などさまざまな理由で戦争や差別が起き、人間が不幸になってしまふ現実が、音をききませ私たちの身近に迫ってくる▼突然のリクエストですが、一度さだまさしの「遙かなるクリスマス」を聞いて下さい……(S・I)